

## A 欧 文

### A-a

1. Kaminogo M, Tani M, Kawakubo J, Ishimaru H, Hayashi H, Shibata S: Kissing aneurysm of the distal anterior cerebral artery: Preoperative CT angiography and surgical management: A case report, *Acta Med Nagasakiensia*, 45, 45-47 (2000)
2. Kaminogo M, Onizuka M, Takahata H, Matsuo Y, Kitagawa N, Shibata S: The therapeutic value of intraischemic hypothermia and postischemic spin trapper for cerebral ischemia, *J Stroke and Cerebrovascular Diseases*, 9(Suppl 1), 203-204 (2000)◇
3. Tokunaga Y, Nakashima M, Sasaki H, Tomiyama N, Nakashima M, Ichikawa M, Kaminogo M, Shibata S: Local distribution into brain tumor and pharmacokinetics of 4-pyridoxate diammine hydroxy platinum, a novel cisplatin derivative, after intracarotid administration in rats with 9L malignant glioma: Simultaneous brain microdialysis study, *Biol Pharm Bul*, 23(12), 1491-1496 (2000) \* ◇
4. Hayashi K, Matsuo T, Kurihara M, Daikoku M, Kitange G, Shibata S: Skull metastasis of hepatocellular carcinoma associated with acute epidural hematoma: A case report, *Surg Neurol*, 53, 379-382 (2000) \*
5. Kitange G, Tsunoda K, Anda T, Nakamura S, Yasunaga A, Naito S, Shibata S: Immunohistochemical expression of Ets-1 transcription factor and the urokinase-type plasminogen activator is correlated with the malignant and invasive potential in meningiomas, *Cancer*, 89, 2292-2300 (2000) \*
6. Suyama K, Minagawa T, Onizuka M, Mizota S, Miyazaki H: Brain check-up and treatment for asymptomatic unruptured cerebral aneurysms, *J Stroke and Cerebrovascular Diseases*, 9(2) Suppl 1, 281-282 (2000)
7. Eguchi S, Nishihara M, Shinozaki T, Moriyama T, Okudaira S, Kanematsu T: A case of ductal dysplasia of pancreas -a possible prerequisite for pancreatic cancer-, *Acta Med Nagasakiensia*, 45, 71-74 (2000)

## B 邦 文

### B-a

1. 柴田尚武: これからの脳腫瘍手術 一定位放射線手術一、長崎県医師会報、648、73-74 (2000)
2. 上之郷眞木雄、柴田尚武、米倉正大: 高齢者クモ膜下出血の治療成績、The Mt. Fuji Workshop on CVD 講演集、18、76-79 (2000)
3. 高橋治城、松尾孝之、谷 政治、鎌田健作、安永暁生、柴田尚武、林 靖之、内田孝俊、越智 誠、林 邦昭、悪性神経膠腫に対する定位的放射線治療の役割、定位的放射線治療、4、97-102 (2000)
4. 林健太郎、松尾孝之、栗原正紀、須田久雄、柴田尚武: 急性大動脈疾患に虚血性脳血管障害を併発した2例、脳と神経、52、259-262 (2000)
5. 林健太郎、松尾孝之、栗原正紀、柴田尚武: 若年性 Bow hunter's stroke の1例、脳と神経、52、431-434 (2000)
6. 辻村雅樹: 医療現場からの提言 一脳死臓器移植のバリアー: 臓器移植推進のための提供施設からの提言、生命倫理、10(1)、186-187 (2000)
7. 堀江信貴、堤 圭介、矢野賢一、案田岳夫、横山博明、山本東明、永野尚登: 反復する術後再発に対し、ガンマナイフおよびプレオマイシン局所化学療法が奏効した頭蓋咽頭腫の一例、脳神経外科ジャーナル、9、747-752(2000)
8. 馬場啓至: 脳梁離断術の適応と予後、神経研究の進歩、44、103-112 (2000)
9. 上田 徹、馬場啓至、小野憲爾、小野智慧、米倉正大、難治てんかんに対する二期的脳梁全離断術、脳と神経、52、1085-1090 (2000)
10. 高山隼人、米倉正大、寺本成美: 携帯電話を使用したヘリコプター内からのモニタリングの伝送、日本航空医療学会雑誌、1、60-70 (2000)
11. 松坂哲應、馬場啓至: 難治性てんかんに対する治療対策 一早期外科治療に向けてから一、小児科、41、1406-1414 (2000)
12. 栗原正紀、井上健一郎、橋本考来、牟田博夫: 中都市における二次医療機関主体型救急医療体制 一長崎における救急医療情報システムの紹介、日臨救医誌、3、217-227 (2000)
13. 角田圭司、堤 健二、林 隆士: 前方スクリュー固定にて治療した軸椎歯突起骨折を伴う環軸椎脱臼の一症例、脳神経外科ジャーナル、9(5)、359-363 (2000)
14. 井上 優、安永暁生、柴田尚武: 高気圧酸素治療後に神経症状の著明な改善を認めた central pontine myelinolysis の1例、脳神経外科ジャーナル、9(5)、758-762 (2000)

B-c

1. 柴田尚武編：長崎脳腫瘍研究会年報（2000年）、長崎脳腫瘍研究会、pp1-42（2000）
2. 柴田尚武編：長崎脳出血統計委員会年報（2000年）、長崎脳出血統計委員会、pp1-52（2000）
3. 柴田尚武編：長崎くも膜下出血研究会年報（2000年）、長崎くも膜下出血研究会、pp1-41（2000）
4. 柴田尚武編：長崎実地脳梗塞治療研究会統計委員会年報（2000年）、長崎実地脳梗塞治療研究会統計委員会、pp1-58（2000）
5. 柴田尚武編：長崎不随意運動・難治性疼痛研究会年報（2000年）、長崎不随意運動・難治性疼痛研究会、pp1-22（2000）
6. 柴田尚武：5. 脳腫瘍、チャート医師国家試験対策13 脳神経外科、伊東洋編、改訂第2版、医学評論社、東京、pp145-192（2000）
7. 柴田尚武、高橋治城、松尾孝之：脳動静脈奇形、脳神経外科 Advanced Practice 1. 定位的放射線治療、高倉公朋、東京、メディカルビュー社、pp94-105（2000）
8. 馬場啓至、上田 徹：Epilepsy、脳神経外科レビュー8、菊池晴彦監修、佐藤 潔、福井仁士、山浦 晶編、三輪書店、pp294-306（2000）

B-d

1. 笠 伸年：下垂体腫瘍関連チロシンキナーゼ遺伝子のクローニングと機能解析、平成11年度文部省科学研究費補助金奨励研究(A)研究成果報告書（2000）
2. 奥永知宏、西村修平：失語症にて発症した MELAS の一例、保健福祉総合施設誌、6(1)、45-49（2000）
3. 古賀博明、市倉明男、林 之茂、小橋英雄：脳循環予備能の定量的評価法“RVR法”活用のための Placebo 試験、佐世保市立総合病院紀要、25、35-40（2000）
4. 林 之茂、古賀博明、市倉明男、出雲 剛、岩崎啓介：Intradiploic epidermoid cyst の1例、佐世保市立総合病院紀要、25、79-82、（2000）
5. 米倉正大：9指-2循環器病疾患における救急医療に関する研究、平成11年度厚生省循環器病研究報告集（2000）
6. 米倉正大：へき地・離島救急医療のシステム作りに関する研究、平成11年度厚生科学研究補助金による医療技術評価総合研究事業研究報告集（2000）
7. 米倉正大：脳卒中の一次予防、二次予防、病態及び治療に関する研究、平成11年度厚生科学研究補助金による医療技術総合研究事業研究報告集（2000）
8. 米倉正大：糖尿病患者における脳血管障害発症予防と治療に関する研究、平成11年度国立病院治療共同研究報告書（2000）
9. 米倉正大：広域災害発生時における画像電送を使用する遠隔医療支援の効率的運用方法の研究、平成11年度国立病院治療共同研究報告書（2000）
10. 角田圭司、岩永充人、鳥羽 保、馬場啓至、米倉正大、寺本成美、藤井秀治、黒田喜寿、高橋克朗、小池 敦：非機能性巨大下垂体腺腫の放射線治療中に高 ACTH 血症を呈した一例、国立長崎中央病院医学雑誌、3、50-53（2000）
11. 黒田喜寿、高橋克朗、小池 敦、馬場啓至：てんかんの外科的治療に伴う精神医学的側面の変化について、国立長崎中央病院医学雑誌、3、6-9、（2000）
12. 黒田喜寿、高橋克朗、小池 敦、馬場啓至：前側頭葉切除術が言語機能に及ぼす影響について、国立長崎中央病院医学雑誌、3、10-14（2000）
13. 栗原正紀：長崎県救急業務の今後の課題、長崎県救急医療財団20周年記念誌（2000）
14. 森山忠良、西原 実、江口 晋、後藤貴史：プレホスピタル・レコード導入の試みー国立対馬病院における救急医療を中心にー、佐世保市立総合病院紀要、25、71-74（2000）

原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
2000	7	0	0	0	7	3	14	0	8	14	36	43

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
2000	1	0	9	10	3	3	196	202	212

原著論文総数に係る教官生産係数一覧

	欧文論文総数 (論文総数)	教官生産係数 (欧文論文)	SCI掲載論文 欧文論文総数	教官生産係数 (SCI掲載論文)
2000	0.163	0.875	0.429	0.375

Impact factor 値一覧

	Impact factor	1 教官当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
2000	5.516	0.690	1.839